

Mitaka City Library

三鷹市立図書館

図書館だより

平成24年10-12月

号

第5号 平成24年10月1日発行

編集・発行：三鷹市立図書館

三鷹図書館(本館) 上連雀 8-3-3 Tel.0422-43-9151

下連雀図書館 下連雀 6-13-13 Tel.0422-43-9159

東部図書館 牟礼 5-8-16 Tel.0422-49-3851

西部図書館 大沢 2-6-47 Tel.0422-33-1311

三鷹駅前図書館 下連雀 3-13-10 Tel.0422-71-0035

開館時間：9:30~17:00

※三鷹図書館は9:30~20:00、土・日・祝日は17:00まで

※三鷹駅前図書館は10:00~20:00、土・日・祝日は17:00まで

休館日：毎週月曜日・第3水曜日

※下連雀図書館は毎週水曜日・第1月曜日・祝日

<http://www.library.mitaka.tokyo.jp>

南部図書館(仮称)の開館に向けて

アジア・アフリカ文化財団と パートナーシップ協定を締結

三鷹市立の五つ目の分館、南部図書館(仮称)は、公益財団法人アジア・アフリカ文化財団が新築する建物内に来年度後半に開館する予定です。同財団の運営するアジア・アフリカ図書館とのさまざまなコラボレーションが期待されています。



(左から) アジア・アフリカ文化財団の菊地弘会長と篠原昭雄理事長、清原市長、貝ノ瀬教育長

8月30日、同財団と三鷹市、三鷹市教育委員会の3者が、互いの役割と責務を明確にし、協働を推進するためのパートナーシップ協定を締結しました。協定には、施設の建設及び整備、^{かくまつしゆく}「郭沫若文庫」等の同財団の貴重資料の市への無償貸与と南部図書館での公開、二つの図書館の協力関係、国際理解・交流を推進する協働事業の実施などの内容が盛り込まれています。

9月から同財団による建設工事が始まりました。三鷹市による図書館部分の内装工事は来年度に入ってから行います。

場所：新川5-14-16

施設面積：約760㎡



会期：9月20日(木)~10月28日(日)

会場：三鷹市立三鷹図書館



日本の天文学の中心である国立天文台の三鷹キャンパスには、1924年(大正13年)に移転してきてからの数多くの観測施設があり、国の重要文化財や登録文化財となっています。また、小説『天地明察』の主人公・渋川春海の著作など江戸時代の幕府天文方の資料を引き継ぐ国立天文台図書室もあります。国立天文台所蔵の天体観測機器、貴重資料の絵図や暦(複製)、小惑星 Mitaka の写真などを通して、このまちに刻まれた日本の天文学のあゆみを振り返る展示です。

【展示関連イベント】講演会

「暦はどのように作られているか」

暦の歴史としくみを、太陽・月・地球の動きからわかりやすく解説します。

国立天文台暦計算室長 片山真人さん

10月13日(土) 午前10時~11時30分

三鷹図書館(本館) 第1集会室

当日、直接会場へ。先着50人。



第18回 おとなが楽しむおはなし会

10月26日(金)

大人を対象にしたお話の語り(昔話、創作話など)のおはなし会を開催します。三鷹市文庫連絡会・わたげの会・三鷹市立図書館主催。10月26日(金)午後7時~8時30分(開場6時30分)、駅前コミュニティ・センター4階多目的室にて。先着順100人(小さいお子さんの来場はご遠慮ください。)申し込みは不要です。

当日直接会場へ。



「絵本パック」を設置しました!

市内10ヶ所の子育て関連施設等に、図書館お勧めの赤ちゃん絵本の「絵本パック」を設置しました。図書館で作成している乳幼児向けブックリスト「絵本でひろがる豊かな時間」に掲載されている絵本34冊のセットです。お子さんとゆったりと過ごせる場所での楽しい時間作りに、絵本もぜひご活用ください。

【設置場所】

- ◇つくつくひろば(みたかつくしんぼ保育園内)
- ◇HOT・ホット・きらきら(こじか保育園内)
- ◇たんぼぼひろば(弘済保育所おひさま保育園内)
- ◇ぴっぴ(みたか小鳥の森保育園内)
- ◇つぎあてポッケ(子ども生活・ゆめこうば(むさしの子ども劇場)内)
- ◇子ども家庭支援センターすくすくひろば
- ◇子ども家庭支援センターのびのびひろば
- ◇北野ハピネスセンター
- ◇総合保健センター
- ◇子ども育成課窓口(市本庁舎4階)



のびのびひろばの絵本パックコーナー

中学・高校生・ 大学生による POPを展示中

図書館でボランティアや職場体験をする中学生、高校生、大学生の皆さんが書いてくれたポップ(本の紹介文)を、三鷹図書館(本館)のヤングアダルトのコーナーで掲示しています。10代、20代の若者の視点で書かれたポップをお楽しみください。

ストーリーテリング講座が始まりました

囲炉裏端での昔語りのように、語り手が昔話や創作童話などを覚えて語り、おはなしの世界を聞き手と語り手がともに楽しむストーリーテリング。9月に始まった5回連続講座の初回は、「楽しむ」がテーマ。35人の受講生が市内で活躍中の語り手たちのストーリーテリングを楽しみ、講師の国立おはなしの会の平塚ミヨさんから優しく力強いお話を伺いました。受講生のTさんは、「平塚さんのお話にとっても感動した。美しい言葉を伝えていけるよう頑張りたい」と意気込みを語っていました。



読書週間はぜひ図書館へ

10月27日(土)~11月9日(金)

期間中、各館でちょっと特別な楽しいおはなし会を行います。ぜひご参加ください。

詳しくは図書館ホームページで。

絵本作家・宮西達也さんの楽しいお話 大盛況! ティラノくんも登場!

9月7日、三鷹駅前コミュニティ・センターで親子約100人が参加、宮西さんの絵本の読み聞かせ



やお話で楽しい時間を過ごしました。大きなスクリーンに絵を映しながら「はーい!」「にゃーご」などを読み聞かせ。最後には代表作「おまえうまそうだな」のティラノくんも登場し、会場は大盛り上がりでした。

「資料室」へどうぞ

三鷹図書館(本館)の2階に、調べものができる専門のスペース「資料室」があります。充実したさまざまな事典類、無料で使えるオンラインデータベース、新聞各紙縮刷版に、三鷹をはじめとした地域の資料も揃っていますので、ぜひご利用ください。使い方がわからないときは、担当職員までどうぞ。

◇資料室の本④

三鷹市の広報に関する記事を現物で見ると

…「三鷹市報縮刷版」と「広報みたか縮刷版」

三鷹図書館(本館)資料室では「三鷹市報」(第1号から第593号まで)と「広報みたか」(第594号から第1225号まで)の縮刷版を所蔵しています。

例えば、三鷹市が手掛けた先駆的な施策である下水道事業について「きょうから使える下水道」や「100%まであとわずか」、「下水道日本一生まれ変わる三鷹」などといった記事があり、三鷹市の歩みに沿って記事を探すことができます。

なお、「広報みたか」第1226号以降については縮刷版を作成していませんが、三鷹市ホームページにHTML版とPDF版が公開されています。

◎貸出カードの有効期限◎

図書館の貸出カードには有効期限があります。有効期限は登録日から2年間です。期限を過ぎると、貸出・予約ができなくなります。ご本人がお近くの図書館または移動図書館ひまわり号に、貸出カードと住所を確認できるもの(運転免許証・健康保険証・学生証など)をお持ちください。有効期限は貸出しカードの表面に印字されているほか、館内の端末、インターネット上の利用者情報から確認できます。また、住所・電話番号等、登録情報に変更があった場合も申請が必要となります。

杏林大学医学部図書館の本を借りることができます

三鷹市立図書館では、杏林大学医学部図書館と協力貸出協定を結んでいます。三鷹市内に在住・在勤・在学で貸出カードをお持ちの方でしたら、杏林大学医学部図書館の所蔵する図書資料を三鷹市立図書館を通して利用することができます(雑誌、貸出禁止の図書は除く)。医学に関する専門的な図書を利用したいときにはぜひご利用ください。

【貸出方法】貸出冊数は一人3冊までで、貸出期間は杏林大学医学部図書館の貸出日から2週間以内です。貸出希望をされるときには、三鷹市立図書館各館のカウンターで申込手続きを行い、図書の用意が出来ましたらご連絡しますので、申請した館でお受取りください。返却の際には申請した館のカウンターにお返しください。期間の延長はできません。

図書館のお仕事◎リサイクル図書の提供

通常は目にふれにくい図書館サービスの裏側を紹介するコーナーです

今年も学校図書館や子育て支援施設等へのリサイクル図書提供が7月27日から8月3日まで本館で行われました。これは、図書館で不要になった状態のよい本を市内の学校図書館、市立保育園、学童保育所に提供するもので、平成14年から毎年1~2回行っています。

今年から新たな試みとして、私立保育園や認証保育所などへも提供先を広げ、さらに各分館の児童書や絵本を集めて会場を1カ所に行いました。

会場の三鷹図書館には連日、学校図書館司書や保育士のみなさんが訪れて、部屋いっぱいに並んだ本を手に取り、児童サービス担当の図書館員と相談しながら本を選んでいました。

その結果、今回は学校図書館延べ8か所に1,354冊、市立及び私立保育園延べ19か所に1,073冊、合計2,427冊と、例年の倍以上の図書を提供することができました。



三鷹図書館のリサイクル図書提供会場



図書館員おすすめの1冊

『誰もが書かなかった日本の戦争一日清・日露・太平洋戦争を知らない子供と大人のためにー』
田原総一郎/著 ポプラ社 2011
2分類 (歴史) 210.6

毒舌家?田原総一郎でさえ、「あの戦争」を語ることはタブーだった、と、この本の冒頭で書いています。誰もが知る必要を唱えつつ知らない「おかしな時代」を、経験者として後世に残そうとした、思いのこもった一冊です。

『ネコと私のつばやき英語』エインジェル・久保/著
明日香出版社 2011
8分類 (言語) 837.8

この本はネコとの生活の中で使われる英会話のフレーズをまとめたものです。かわいいイラスト入りでネコを飼っている方はもちろん必見ですが、飼っていない方でも日常生活の中で使えるちょっとしたフレーズが満載です。

『絵本世界の食事1~20』 銀城康子/文 農山漁村文化協会 2009
児童ノンフィクション 383

食べることが大好きな人におすすめの可愛い絵本のシリーズです。その国のある一家の一日のごはん、台所、一週間のメニュー、特別の日の料理、食事のマナーなど盛りだくさん。これを読んで、どの国の人も間食しているのだと分かり安心しました(間食も食文化ですね)。特に私がおすすめしたいのは最後に載っている簡単なレシピ。家に居ながら海外の食卓気分を味わえます。大人も楽しめる絵本です。さあ、あなたはどの国のごはんを覗いてみますか?

『てんきごじてん 一風・雲・雨・空・雪の日本語ー』 ピエ・ブックス 2009
4分類 (自然科学) 451.0

この本では、天気を表すさまざまなことば「てんきご」を紹介しています。その数、ざっと1,000語以上!美しい写真も満載で、見ても読んでも楽しめる一冊です。「今日の天気は何と言うのかな」と思えば、雨も嫌ではなくなるかも…?

三鷹図書館は 図書館花壇ボランティア

いつも花盛り

市民活動グループ紹介④

三鷹通りに面した三鷹図書館前の花壇はイングリッシュ・ガーデン風。アガパンサス、ルリマツリ、キキョウ、ルリタマアザミ、ハナデマリなど100種類ものさまざまな花が四季折々に咲き続けています。

この花壇を世話しているのは、NPO法人・花と緑のまち三鷹創造協会の「花壇ボランティア講座」第1期生のみなさん。4年前に行われた講座で、この花壇を対象にプランづくりから植付け、育成管理まで年間を通して



ガーデニングを学び、それから毎月集まって花壇の世話を続けてくださっています。活動日に毎回10人ほどのメンバーが集まると、まずは「ガーデンツアー」。全員で草木の状態を観察し話し合ってからこの手入れの仕方を共有します。その後は班に分かれ、除草、切り戻し、植え替え、剪定などの作業。毎年の作業記録が大事な活動



の手引きです。中心メンバーの一人、奥田サト子さんは、「作業記録づくりに必要で、花のためにいつのまにか写真もパソコンもやるようになった」と笑います。

宿根草が多く、冬や真夏に地上部が枯れることがあっても、時期がくると新しい芽を出し、花を咲かせます。花の時期だけ植え替えるのとは違って、多年にわたって咲き続ける花が季節ごとにバラエティ豊かにコーディネートされ楽しめる、というのがこの花壇の特長です。ボランティアのみなさんの手入れで、またこの冬もクリスマスローズの花に再会できそうです。

花壇ボランティアは市内各地でも活動しています。参加したい方、興味のある方は、花と緑のまち三鷹創造協会事務局(TEL0422-31-2671)までご連絡ください。